

## 2016年度グッドデザイン賞を受賞！

再生可能エネルギーの利活用[離島発 風と水素による 循環型社会構築実証プロジェクト]

戸田建設(株)(社長:今井雅則)が環境省より受託した浮体式洋上風力発電実証事業などによる一連の水素関連事業<sup>※1</sup>が、「再生可能エネルギーの利活用[離島発 風と水素による 循環型社会構築実証プロジェクト]」として2016年度グッドデザイン賞<sup>※2</sup>を受賞しました。



水素燃料電池船

### 1. 受賞プロジェクト

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 名称    | 再生可能エネルギーの利活用<br>[離島発 風と水素による 循環型社会構築実証プロジェクト]   |
| (2) 事業主体名 | 戸田建設(株)<br>(プロデューサー: 価値創造推進室エネルギーユニット部長 佐藤 郁)  |
| (3) デザイナー | (株)エトルデザイン 代表取締役 高山 正樹、取締役 岡 由実子   |
| (4) 概要    | 長崎県五島市にある杓島。本プロジェクトは、2010年よりこの離島を舞台とした環境省による浮体式洋上風力発電の実証事業において取り組んだものである。現場を牽引したのは当社を中心とした企業グループ。様々な分野の専門家が結集し、日本初となる浮体式洋上風力発電施設を設置。島が必要とする電力を供給することに成功した。言うなれば再生可能エネルギーの地産地消。さらに余剰電力を使いきるべく、水素を製造し貯蔵。それを燃料とする水素燃料電池船を開発。「海の風」から生まれた「電気」によって地域に電力を供給し、生活の源である船に「水素燃料」を提供するというエネルギー循環型社会のシステムをつくりあげた。 |

## 2. 審査委員の評価

日本の海洋地形にあった浮体式風力で離島の電力を全てまかない、さらに余った電気で水素を作り、その水素で燃料電池船を運航するなど、無駄なく美しい循環型のシステムデザインが実現している。環境負荷の少ないエネルギーシステムを、未来の夢としてではなく、技術革新と併せ、ビジネスとして可視化している点も評価された。

(撮影：西山芳一)



離島を臨む浮体式洋上風力発電施設「はえんかぜ」



水素製造プラント

(撮影：新建築社)



古民家再生 インフォメーションセンター Kaba Cafe

本受賞対象紹介ページ（グッドデザイン賞） <http://www.g-mark.org/award/describe/44513>

### ※1 水素関連事業

- ・環境省 浮体式洋上風力発電実証事業
- ・環境省 CO<sub>2</sub> 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（小型船舶の低炭素化（燃料電池）の技術開発・実証）

### ※2 グッドデザイン賞

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで60年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は45,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

